
2014年3月期第2四半期決算説明会資料
～中期経営計画「IK2013」の進捗について～

2013年11月28日

稲畑産業株式会社

代表取締役社長

稲畑 勝太郎

営業利益100億円の達成をめざす

中期経営計画目標(2014年3月期)

連結売上高	: 5,500億円
連結営業利益	: 100億円
ROE	: 7.4%
ネットD/Eレシオ	: 0.72倍以下(注)
自己資本比率	: 29.1%
想定為替レート	: 1USD=81.49円

(注) ネットD/Eレシオ = (有利子負債 - 現預金) / 自己資本

1. 伸びゆくアジア・中国地域への一層の経営資源の投入
2. 新興国市場への取り組みの拡大
3. 環境・エネルギー、ライフサイエンス事業の育成・強化
4. グローバル人材育成のスピードアップ
5. 厳選した投資を実施し、確実なリターンを得る

「IK2013」最終年度の進捗状況(定量面)



通期において、売上・利益共に「IK2013」最終年度目標を達成する見通し

(億円)	2014年3月期第2四半期				
	14/3期 2Q実績 (A)	通期見通し (B)	進捗率 (A/B)%	「IK2013」 最終年度 目標(C)	進捗率 (A/C)%
売上高	2,758	5,500	50.2%	5,500	50.2%
営業利益	56	105	54.1%	100	56.8%
経常利益	65	115	56.8%	100	65.3%
当期純利益	45	85	53.3%	60	75.6%
ネットD/Eレシオ	0.55	—	—	0.72	順調
自己資本比率	35.7%	—	—	29.1%	順調
為替レート(米ドル)	97.75円	97.75円	—	81.49円	—

(注)「IK2013」最終年度目標は2011年5月策定。

1. 伸びゆくアジア・中国地域への一層の経営資源の投入

強みであるアジア事業を徹底的に強化



樹脂コンパウンド事業の拡充

コンパウンド統括室を中心としてワールドワイドに連携強化

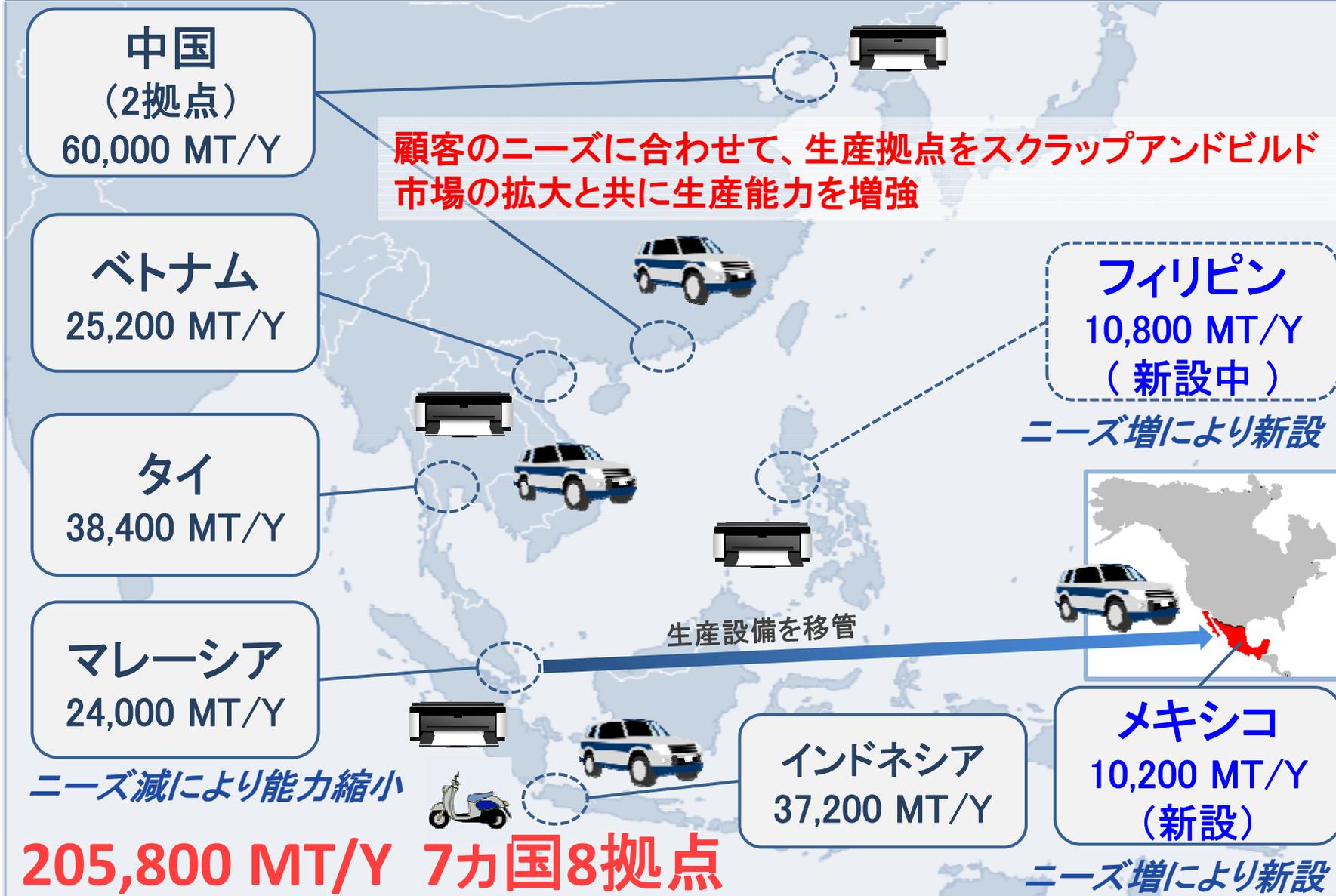
- 最適な地域・規模での生産体制の確立
- 設備・原料の平準化、一括購入によるコスト削減

2013年7月、フィリピンラグナ州に、コンパウンド製造会社を設立
現地で生産拡大を進める日系OAメーカーのニーズに対応

会社名 IK PLASTIC COMPOUND PHILS.INC.

生産能力 10,800MT/Y (2014年4月頃より生産開始)

樹脂コンパウンドの年間生産能力(ワールドワイド)



(注)拠点数・生産能力は、稼働前の拠点分を含む。

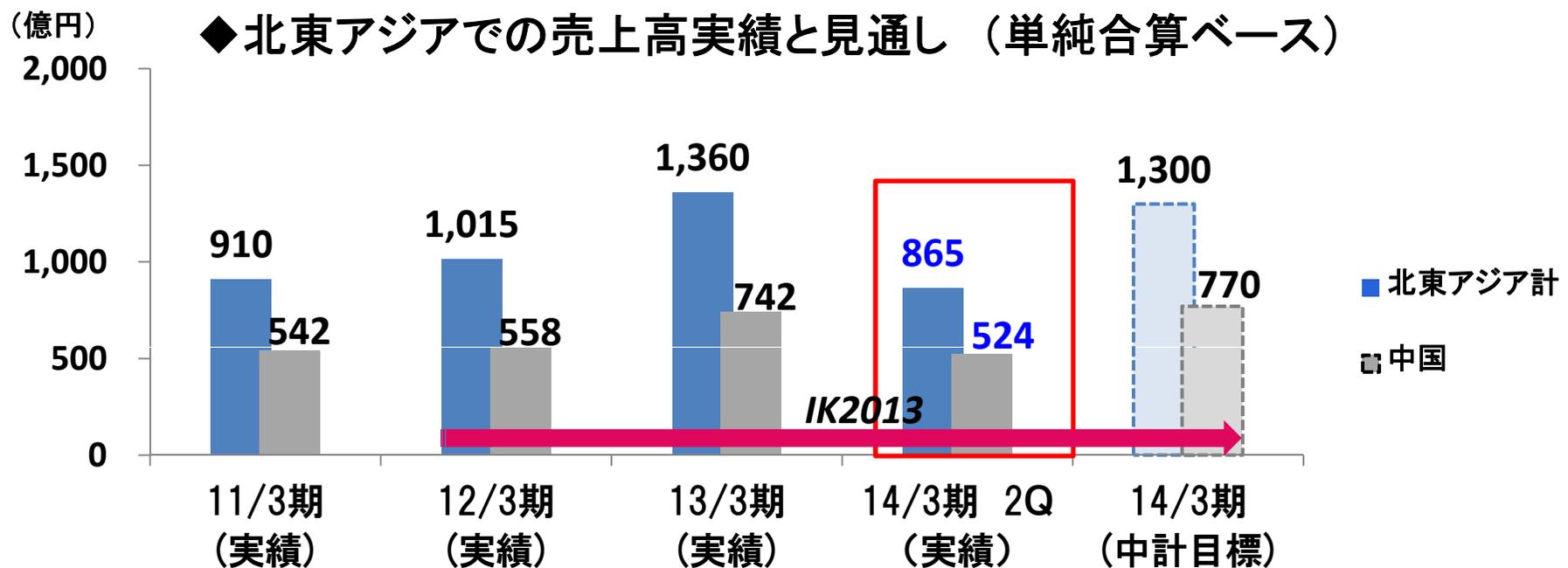
中国に対する取り組み

中国

2014年3月期第2四半期 売上高実績値
北東アジア 865億円 (単純合算ベース)
うち 中国 524億円



北東アジア全体、中国共に、主力事業の好調に加え円安も寄与し、14/3期中計目標値を大きく上回るレベルで推移

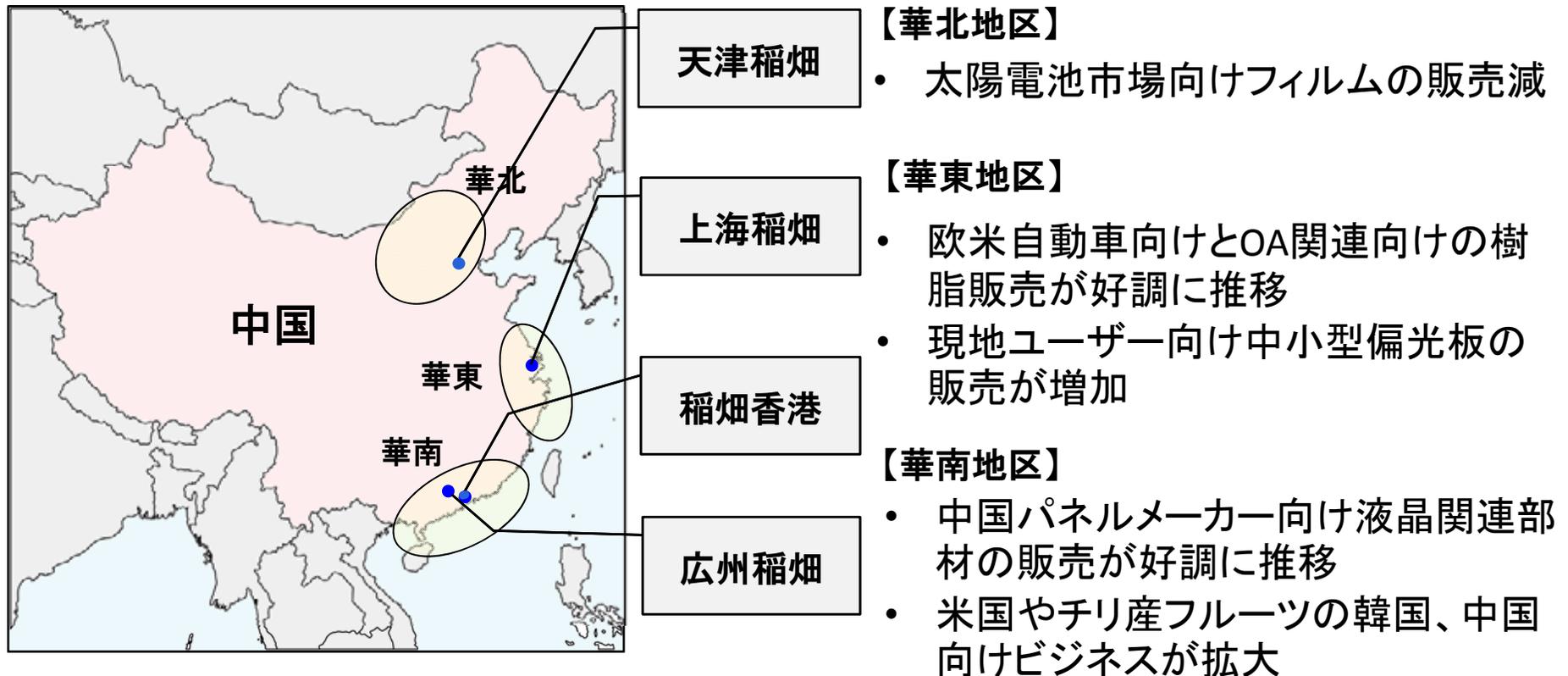


(注)北東アジアは、中国、台湾、韓国。 Copyright © INABATA & CO., LTD 2013

中国でのビジネスの状況

景気拡大テンポの鈍化はあるが、内需中心の自動車・家電・通信業界は、堅調に推移。関連部材、商品の販売は順調に拡大

日系顧客との好関係を維持しつつ、現地顧客とのビジネス拡大を進める



2. 新興国市場への取り組みの拡大

インド・ブラジルと共に、メキシコに注力

日系自動車メーカーのメキシコでの生産規模拡大
(NISSAN, HONDA, MAZDA)

自動車部材メーカーのメキシコ進出加速



日系自動車メーカーの新工場の量産化が始まる2014年に向け

- 2012年8月 メキシコ中部ケレタロ市に商社現地法人を設立
- 2012年11月 中部地区シラオ郊外に樹脂コンパウンド製造会社設立
会社名: IK Plastic Compound Mexico, S.A. de C.V.

メキシコでのビジネスの状況

IK プラスチック コンパウンド メキシコ進捗状況

- 2013年11月工場完成、試作開始
- 2014年4月より量産開始予定

事業内容 : 合成樹脂着色・コンパウンド
生産能力 : 10,200トン/年
所在地 : メキシコ中央部グアナフアト州シラオ

IK Plastic Compound Mexico, S.A. de C.V.



【外観】



【製造ライン】



インドに対する取り組み

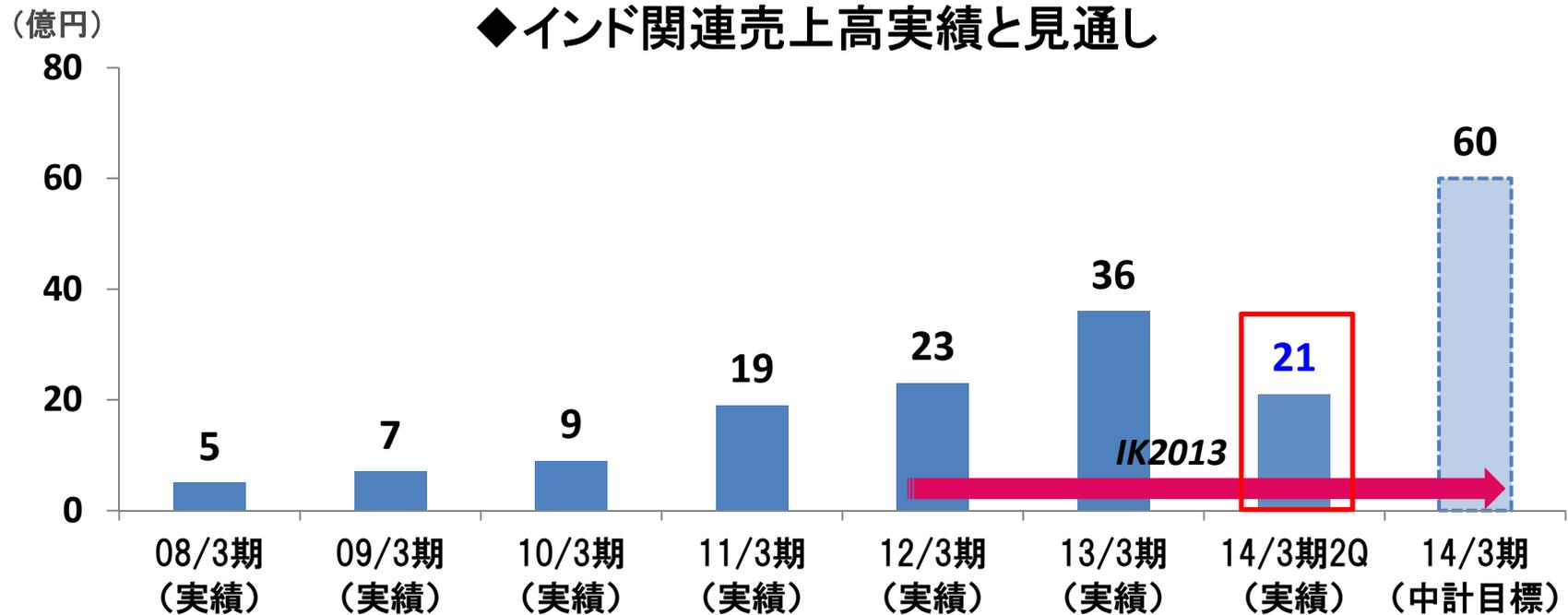


インド

重要市場のひとつとして、事業拡大に向けた取り組みを加速



2014年3月期第2四半期 売上高実績値
21億円

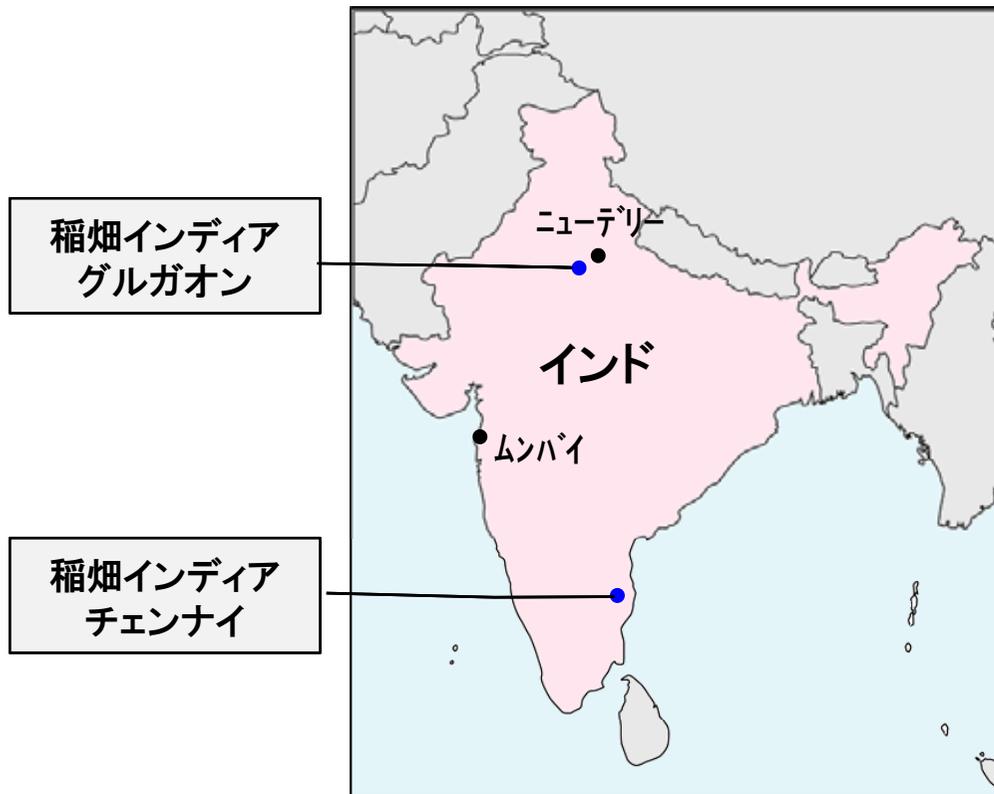


(注) インド現地法人の取引はコミッションベースが主体のため、マージン率よりみなし売上高を算出。

インドでのビジネスの状況

景気回復が遅れる中、ルピー安による燃料高や高金利の影響により車両販売が低迷、樹脂の販売も全体的に苦戦

人員の見直しを行い、長期的な視点で利益の出る体制を構築



【注力するビジネス】

- 日系企業との取引
- 車両関連分野
- 顧客のニーズを満たす在庫販売
(国内未生産の樹脂の輸入販売等)

トルコでの取り組み

欧州、中東、アフリカ向けビジネスのハブとなるトルコに
稲畑シンガポールの駐在員事務所として、2013年7月に
イスタンブール駐在員連絡事務所を開設



トルコに進出する自動車メーカーや
欧州の家電メーカー向け合成樹脂
を中心に、将来のトルコ及び周辺国
におけるビジネス開発と調査を開始

稲畑シンガポール
イスタンブール事務所



ブラジルでの取り組み

日系自動車メーカーが南米で注力するブラジルに、
稲畑アメリカの子会社として、2013年8月現地法人を設立
マーケット調査の段階から、ビジネス開拓へ前進



日系顧客を中心にビジネス基盤を構築し、
更に欧米企業や現地企業との取引をめざす

注力する分野
合成樹脂、化学品、食品関連

2013年10月末より業務開始

Inabata Brasil Importacao e
Exportacao Ltda



3. 環境・エネルギー、ライフサイエンス事業の育成・強化

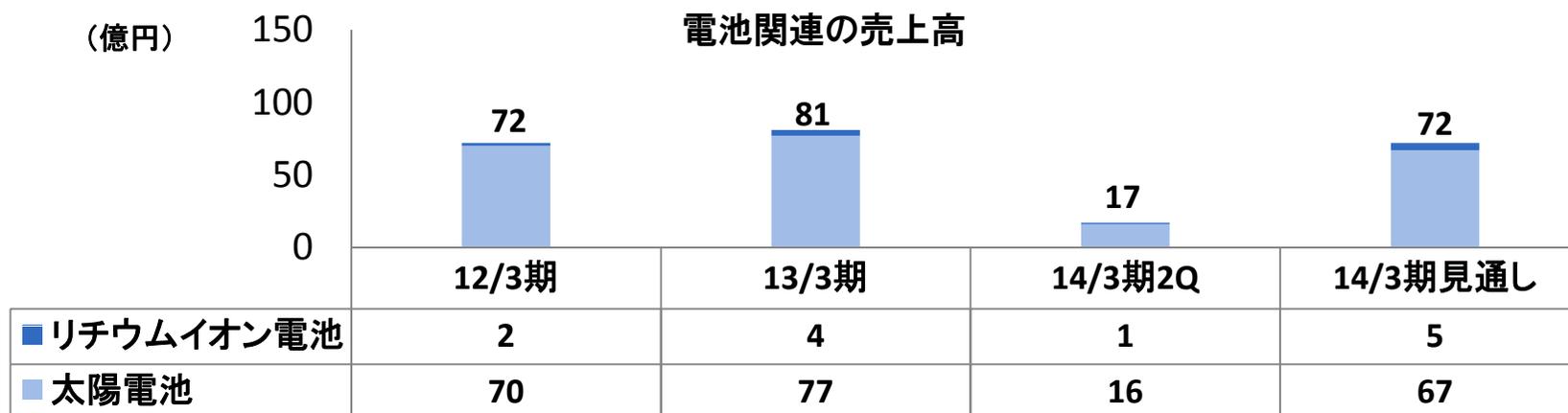
電池関連ビジネスのマーケットと売上高

太陽電池マーケット

海外マーケットは、依然冷え込んでおり、特に欧州市場では、住宅用以外のプロジェクト案件が失速している。一方、日本市場は、2012年7月より始まった全量買取制度によりメガソーラーの需要が堅調。関連する部材の国内販売も好調に推移した。

リチウムイオン電池マーケット

モバイル機器向け等の民生用途の需要は堅調であるが、電池のニーズは特性よりも価格という状況。一方、期待されるEV、HEVなどの動力用途や再生エネルギーなどの電力貯蔵用途は、市場拡大が遅れている。これらの本格的な需要は2015年以降とみられる。



(注)リチウムイオン電池は、単体の数値。太陽電池はワールドワイドの数値。

「IK2013」の進捗状況(重点施策)



4. グローバル人材育成のスピードアップ

- 日本からの海外赴任者を3年以内に100名とする
- 海外商社部門の増員
3年以内(2014年3月期)に最低600名、5年を目途に700名に

	2013年9月末	2012年3月末	増減
海外赴任者人数	89名	78名	+11名
海外商社部門人数	572名	533名	+39名

(注)2013年9月末の海外赴任者人数は10月1日現在



5. 厳選した投資を実施し、確実なリターンを得る

・3年間の投資枠を90億円に設定

2014年3月期第2四半期までの投資実施状況

2011年からの累計 85億円

累計実績内訳：

合成樹脂43億円、情報電子15億円、生活産業5億円 他

2014年3月期第2四半期の主な投資実績：

情報電子事業 設備投資(12.3億円)

コンパウンド事業 資本・設備投資(2.6億円)

□ 「IK2013」投資計画 90億円(新規 3年間合計)

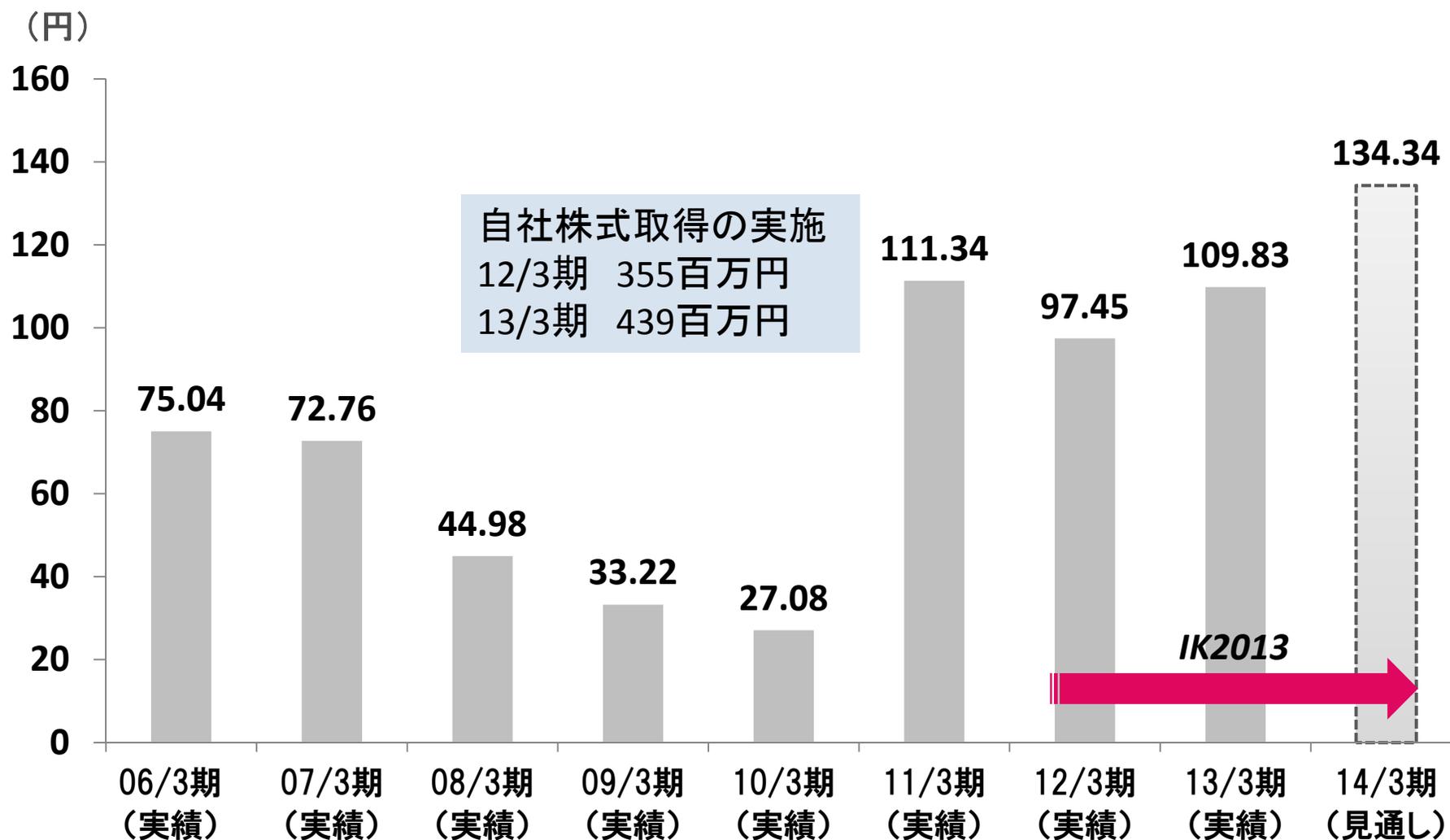
既投資案件 : 継続的見直しによる選択と集中

新規投資案件 : 成長の期待できる事業分野と地域に重点的に配分

重点事業分野 : 「情報電子」、「合成樹脂」、「化学品」の3事業分野

重点地域 : 中国、インドを含むアジア地域、中南米

1株当たりの当期純利益推移(EPS)

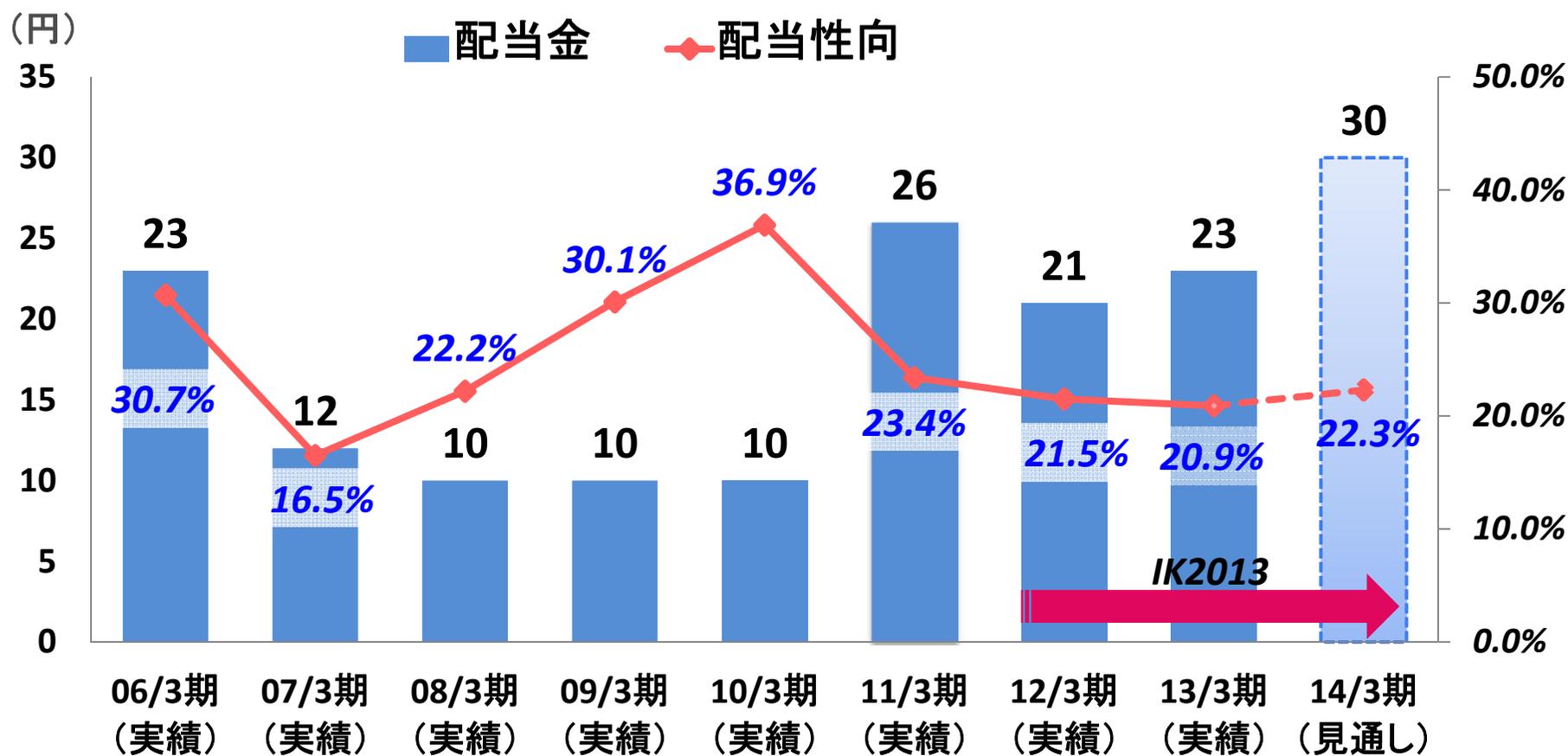


株主への利益還元①



1株当たりの年間配当金と配当性向

配当性向 20~30%を目安



(注) 11/3期は、創業120周年の記念配当2円を含みます。

株主への利益還元②



□ 配当方針:

連結当期純利益の20～30%を配当の目安

1株当たり最低限年間10円の安定配当に努める

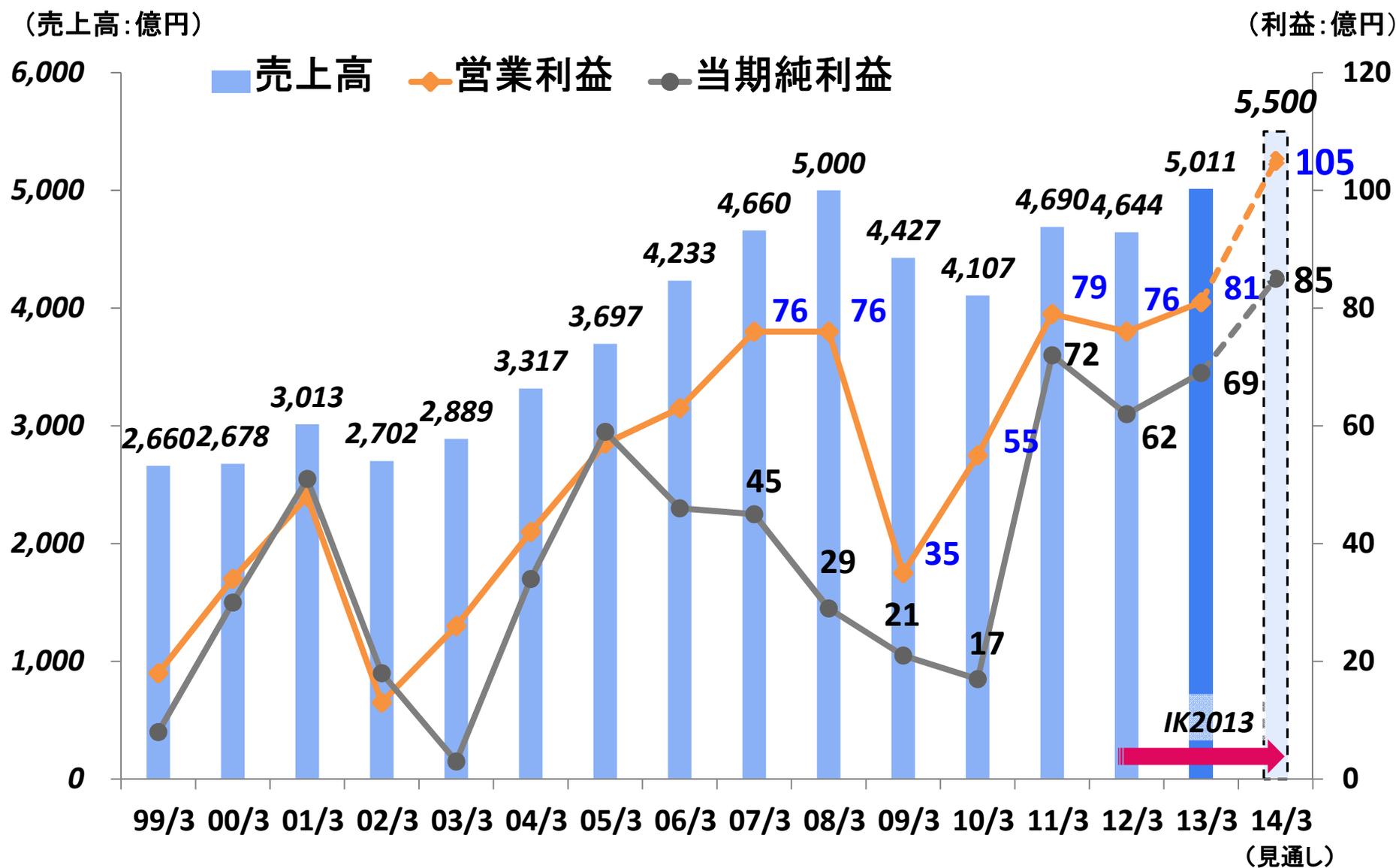
□ 自己株式の取得: ⇒ 今後とも適宜、実施予定

資本効率の向上を通じて、
株主還元、株主価値の向上を図る

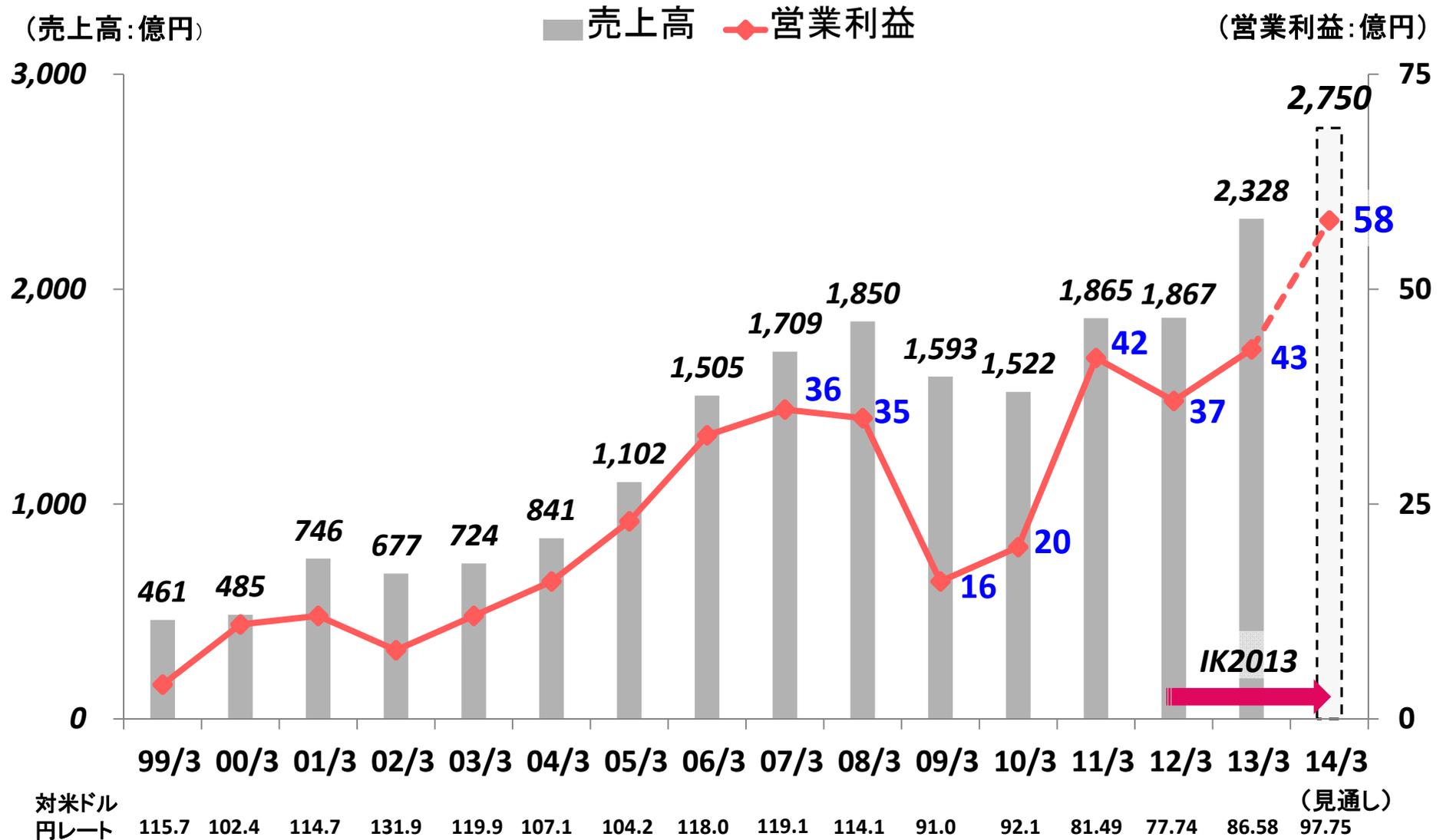
(2013年3月期の実施内容)

- 取得株式数 800,000株
- 株式取得価額 439,794,000円
- 取得期間 2012年8月8日～8月28日

(参考) 過去15年の連結業績の推移



(参考) 過去15年の海外の売上高と営業利益の推移



(参考)「IK2013」経営指標の推移



IK2013



	09/3期 (実績)	10/3期 (実績)	11/3期 (実績)	12/3期 (実績)	13/3期 (実績)	14/3期 (中期計画目標)
自己資本比率(%)	29.1	29.5	29.9	30.7	35.4	29.1
ROE (%)	3.1	2.7	10.4 (注)	8.5	8.0	7.4
ネットD/E レシオ(倍)	0.85	0.79	0.62	0.82	0.50	0.72

(注)11/3期(実績)はアイケイファーマシー売却特別利益(税引前31億円)を含んだ数字で算出。

(参考)ミャンマーでの取り組み

民主化、開放路線が進み、多くの日系企業が進出を検討する
ミャンマーに、稲畑タイの駐在員事務所として、
2013年1月1日 ヤンゴン事務所を開設



稲畑タイ
ヤンゴン事務所

稲畑タイ
バンコク

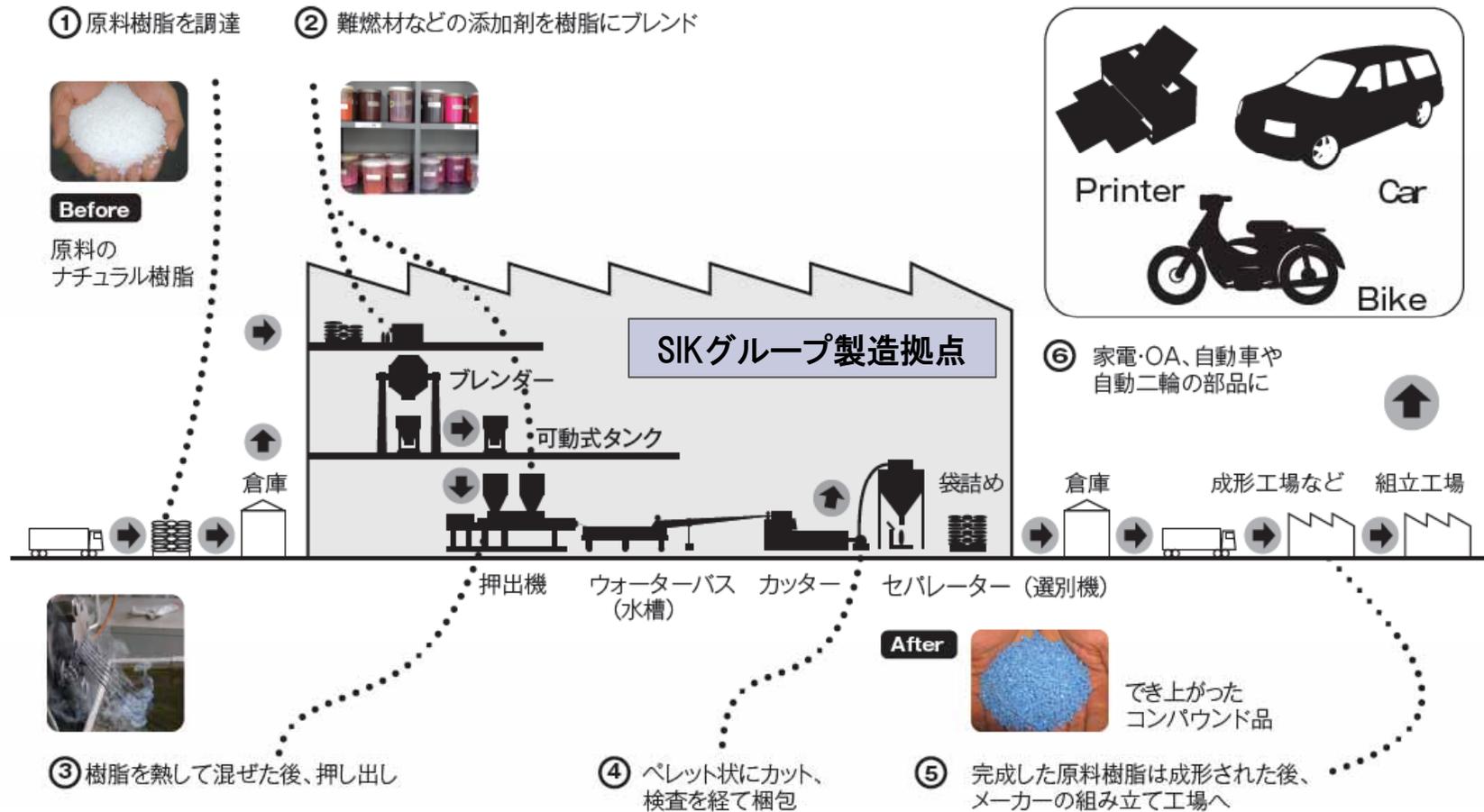


経済インフラの未整備等により
本格的な工業化には時間がかかると
思われるが
将来のマーケットとして
情報収集を開始

- プラスチック成型品
- コンシューマーグッズ
- 海産品
- 木材加工品 など

(参考)樹脂コンパウンド事業の流れ

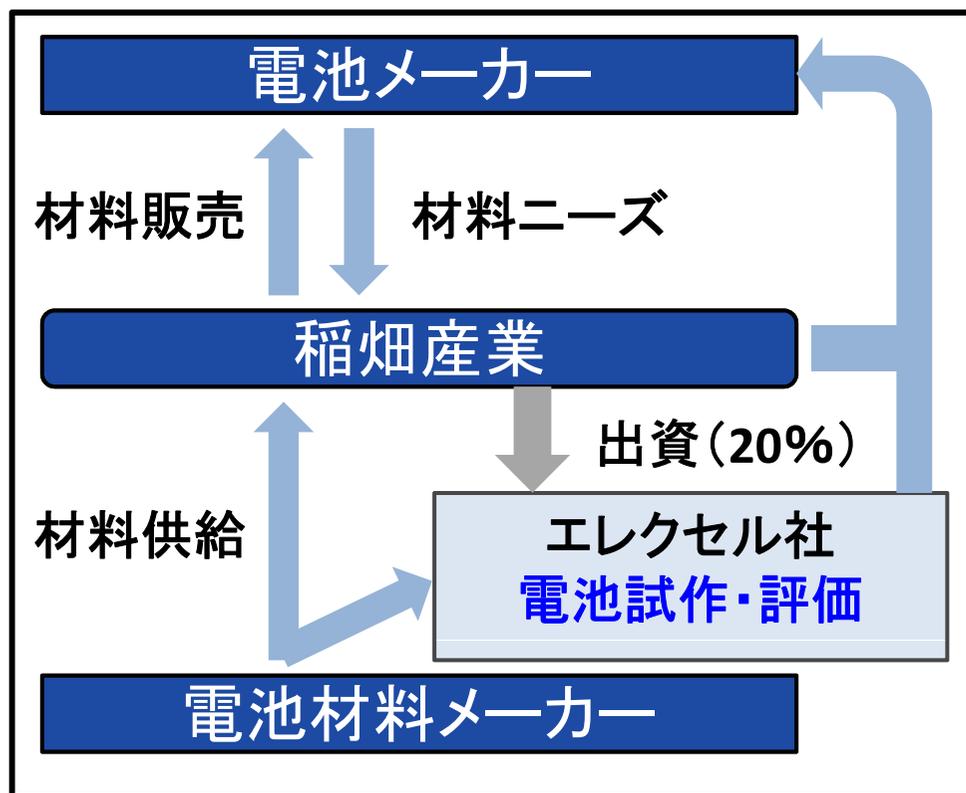
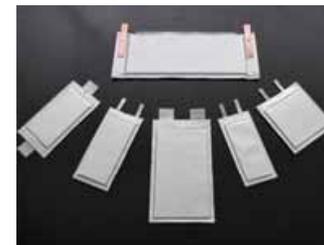
樹脂コンパウンドの流れ



3. 環境・エネルギー、ライフサイエンス事業の育成・強化

二次電池(LIB)関連ビジネスの展開

エクセル社による電池試作/評価事業を武器に
国内外で電池材料販売を展開



電池材料開発の活況により、試作・評価ビジネスも好調に推移

- 韓国電池メーカー向けに材料販売の実績
- ニッチ市場への売込の検討
- 電池システムの販売も視野

(参考)ライフサイエンス事業の取り組み

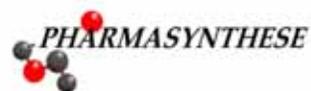
フランスのグループ会社 ファルマサンテ社において 医薬・化粧品の有効成分を製造

稲畑フランスでは、同社製品の販売を中心として
グローバルに医薬・化粧品関連の商社ビジネス拡大を進める

製造から品質管理まで日本基準を徹底



2013年4月、パリで開催された
化粧品関連展示会の当社ブース

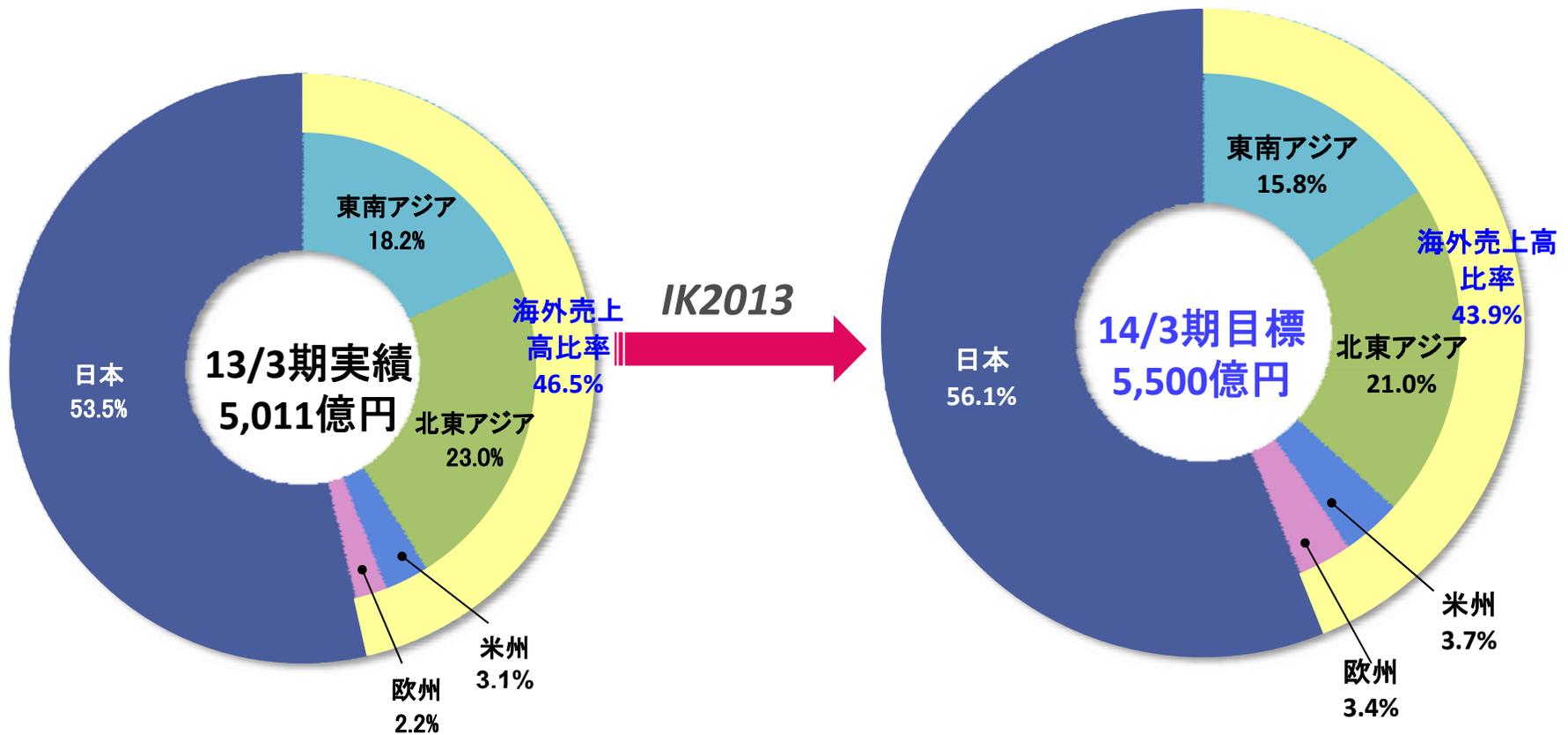


ファルマサンテ・フランス
Pharmasynthese S.A.S.

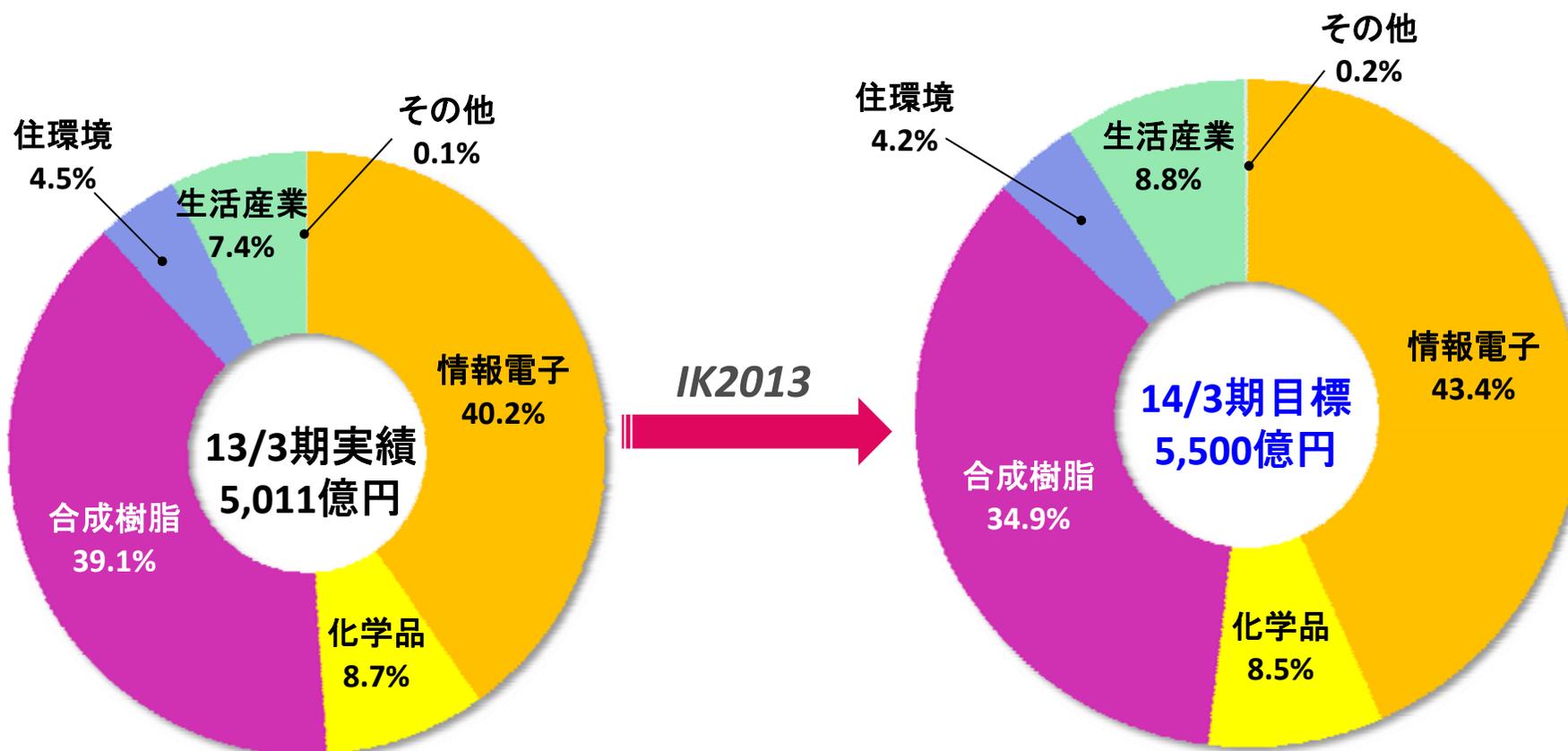
57,Rue Gravetel 76320 Saint Pierre Les Elbeuf ,France
事業内容 医薬品・化粧品の有効成分の製造等
売上高 18億円(2012年12月実績)



地域別売上高構成比



事業別売上高構成比



(注) 14/3期「IK2013」目標の比率は、2012年4月1日からの新セグメントに組み替えたもの。

(参考)事業セグメント概要



情報電子



ディスプレイ・ケミカル装置	液晶ディスプレイ(LCD)関連、LED関連業界への部材の供給および各種製造装置の取扱いを中心に、新規分野への展開も視野に高度な専門知識を活かした提案型ビジネスを展開。
映像・情報	複写機、プリンター業界のお客様にインクジェットやトナー原料、カートリッジなどの各種部材の販売、また専門知識を活かした幅広いサービスを提供。
エネルギー・エレクトロニクス材料・電子材料	半導体、LED、タッチパネル、太陽電池、二次電池、産業用フィルム業界等のお客様に、原料からプロセス材料、製造・検査装置、製品まで、高度な専門性を駆使したソリューションを提供。

合成樹脂



成型材	塩ビ樹脂、可塑剤、添加剤やポリオレフィン系、スチレン系樹脂などの汎用樹脂から各種コンパウンド、エラストマー、エンジニアリング・プラスチック、合成ゴムまで幅広い仕入ソースを背景にお客様のニーズ、シーズに合致した提案や製品展開に注力
高機能樹脂	エンブラ、スーパーエンブラ、特殊樹脂を中心に家電、OA、電子部品、自動車、建材分野のお客様に提案
産業材	ポリオレフィン原料、フィルム製品が中心で、原料メーカーとのタイアップや海外展開により充実したサービスを提供。環境対応商品、高機能商品の開発にも注力。
フィルム・機能材	コンバーター業界に対するフィルムビジネスをコアに、工業材料分野・自動車分野にも製品展開を行い、汎用・高機能オレフィンフィルム販売から食品・工業用向け最終製品までのコーディネートを提供
シート・成形材	PP,PS,PET樹脂などのシート類やその原反のみならず製品加工までと原料から製品までと一貫介在し、物流コストの効率化・コスト低減に寄与

化学品



スペシャリティケミカル	自動車部品から電子材料まで多岐にわたる業界に高機能化学品をグローバルに展開。
パフォーマンスケミカル	塗料、インキ業界向けを中心としたコーティング原材料と製紙関連薬品、接着剤原料および製品等、幅広い商品をタイムリーに提供。

住環境



住宅建材	住宅メーカー・建材メーカー向けパーティクルボード、木材、集成材、建材、プラスチック製品などの販売
環境資材	住宅設備機器メーカー向け・非住宅分野向けに原材料から半製品・製品までの販売

生活産業



ファーマケミカル	ヒューマンヘルスケアの様々なシーンにおける医薬原料の提供
環境・ファインケミカル	日用必需品の原料調達をグローバルにサポート。商品の企画から製品までトータルソリューションを提供
食品	安心・安全な水産物、農産物を世界中から提供

(参考)会社情報



会社名	稲畑産業株式会社	事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで
創業	1890年10月1日	上場市場	東証一部
設立	1918年6月10日	証券コード	8098
資本金	93億6千4百万円	単元株式数	100株
代表者	代表取締役社長 社長執行役員 稲畑 勝太郎	株主数	4,441名
本社	大阪本社/大阪府中央区南船場 一丁目15番14号 東京本社/東京都中央区日本橋 本町二丁目8番2号	大株主の状 況(持株比率 上位3株主と 持株比率)	住友化学株式会社 21.8% 日本マスタートラスト信託 銀行株式会社(信託口) 4.9% 日本トラスティ・サービス信 託銀行株式会社(信託口) 4.5%
従業員数	608名〔連結3,676名〕		
発行可能 株式総数	200,000,000株		
発行済株 式の総数	65,159,227株		

(2013年9月30日現在)

人と人をつなぐ、あなたのベストパートナーでありたい。

IK 稲畑産業株式会社

□ IRに関するお問い合わせ先

稲畑産業株式会社 財務経営管理室 IR企画部

TEL 03-3639-6579 FAX 03-3639-6410

E-mail inabata-ir@inabata.com

◆将来の見通しに関する注意事項

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。従いましてこれらのデータや将来の予測は、不確定な要素を含んだものであり、将来の業績等を保証するものではないことをご理解下さい。

◆数値の表示に関して

資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。